

沿岸定線観測速報 ちば (2021年5月)

千葉丸：5月6～11日

千葉県水産総合研究センター
千葉県農林水産技術会議
令和3年5月31日

黒潮は、野島埼沖から勝浦沖にかけて接岸して流れていました (図2)。
水温は、海面と水深50mは概ね平年並、水深100,200mは概ね平年より高めでした (表1)。

(詳細)

水深10mの水温は13～21℃で、ごく沿岸に5～6℃変化する強い潮目が形成されていました (図3)。鉛直構造を見ると (図5,6)、岸から20～30マイル沖 (北からk7,k2,k1,c4) には、沖の黒潮から波及した34.7PSU以上の高塩分水が海面から水深200～300mまで厚く分布していました。一方、犬吠埼沖では、大陸斜面上に親潮由来の低温低塩分水 (7℃以下, 34.2PSU以下) が4月に引き続き見られました。

海面の流れは、潮目付近で北東へ向かう強い流れ (最大4.8ノット) が見られました (図2)。

クロロフィル濃度は、大陸棚上の水深10m層で4～7μg/Lと高めでした (図7)。

キンメダイ漁場の水温は、前年に比べて勝浦沖は4～5℃、銚子沖は2～3℃高めでした (図8)。海面の流れは、勝浦沖3.3ノット、銚子沖4.2ノットで、いずれも北東へ向かう流れでした。

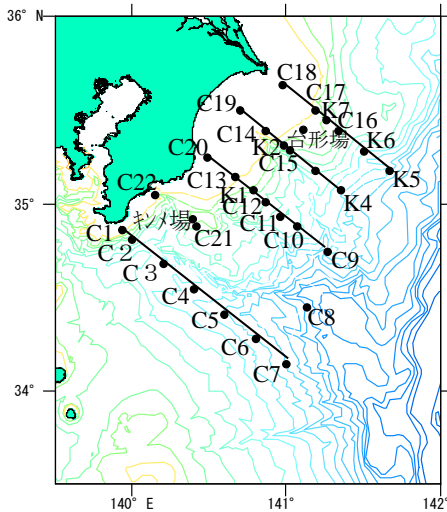


図1 調査点

線は北から犬吠埼、九十九里、太東岬、野島埼南東線

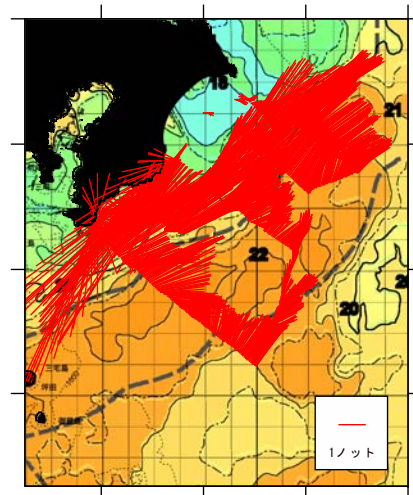


図2 観測時の海況
(破線は黒潮流路)

表1 海域別平均水温 (℃) と評価

海域	0m	50m	100m	200m
銚子・九十九里	18.5 平年並	17.6 平年並	17.2 やや高め	16.6 高め
外房	19.4 平年並	18.2 やや高め	18.8 高め	16.4 高め

*水温評価点 (銚子・九十九里海域：C14～20 計7点)
(外房海域：C1,C3,C11,C13,C21,C22 計6点)

*沿岸水温評価の目安 (σ：標準偏差)

きわめて高め	2.0 σ～
高め	1.3 σ～2.0 σ
やや高め	0.6 σ～1.3 σ
平年並み	0.0 σ～0.6 σ
平年並み	-0.6 σ～0.0 σ
やや低め	-0.6 σ～-1.3 σ
低め	-1.3 σ～-2.0 σ
きわめて低め	-2.0 σ～

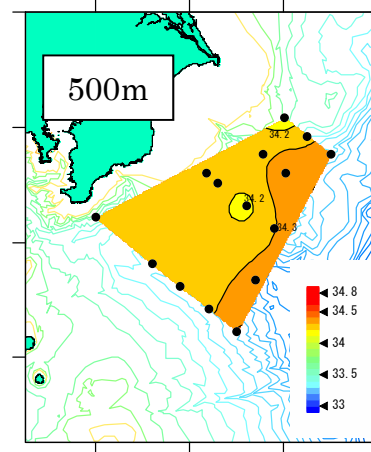
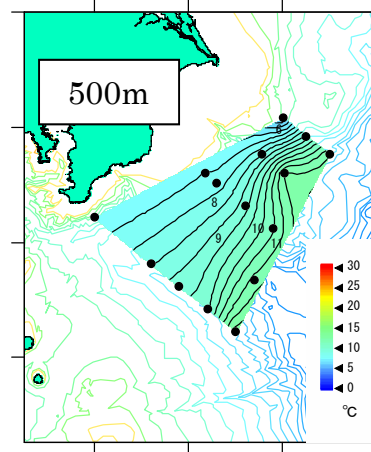
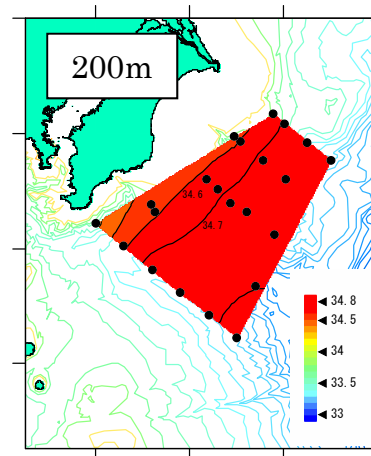
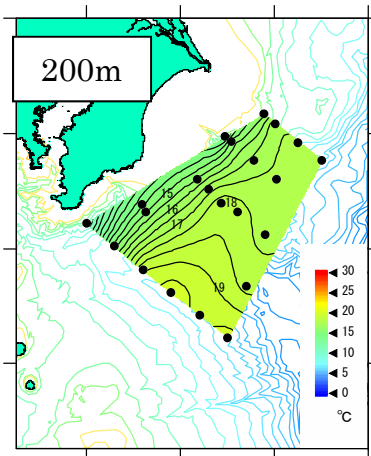
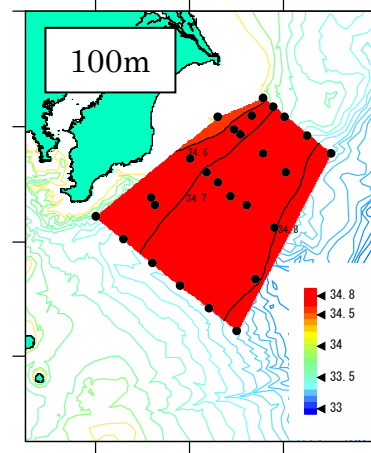
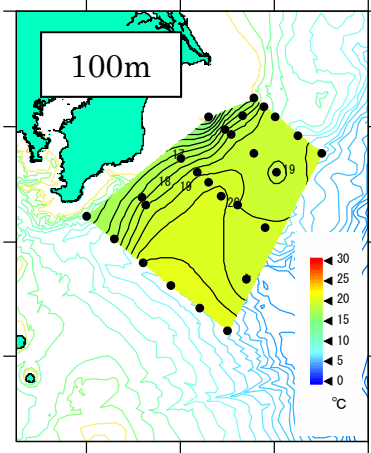
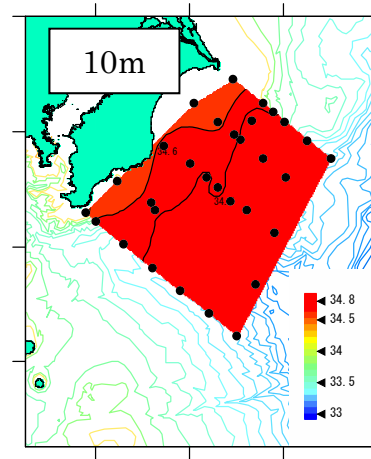
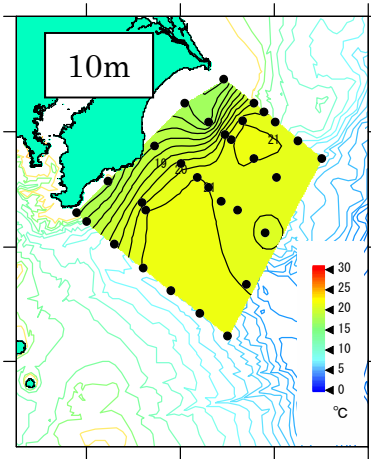


図3 水深別の水温分布

図4 水深別の塩分分布

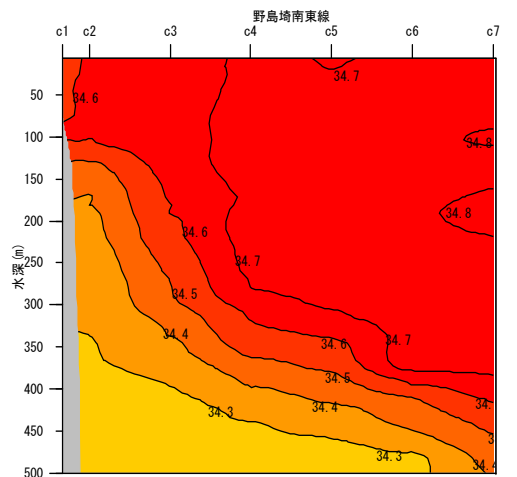
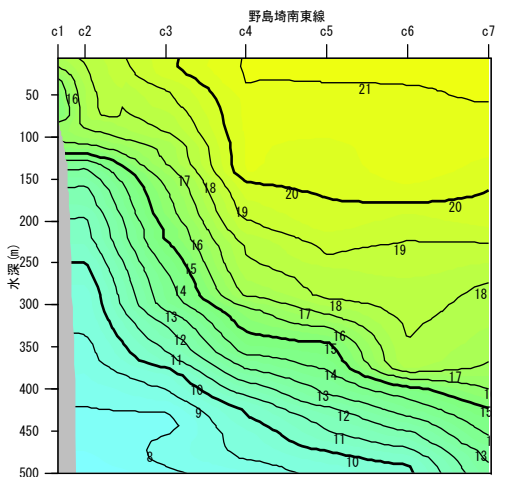
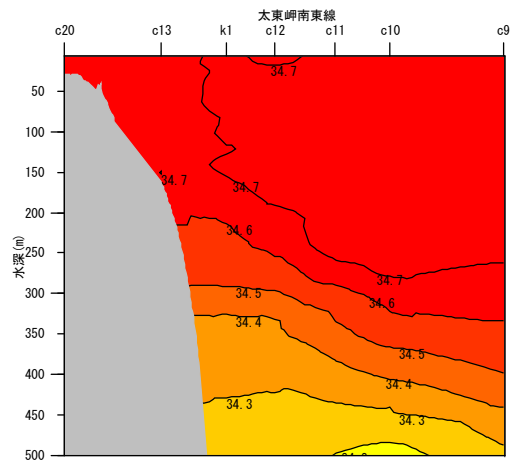
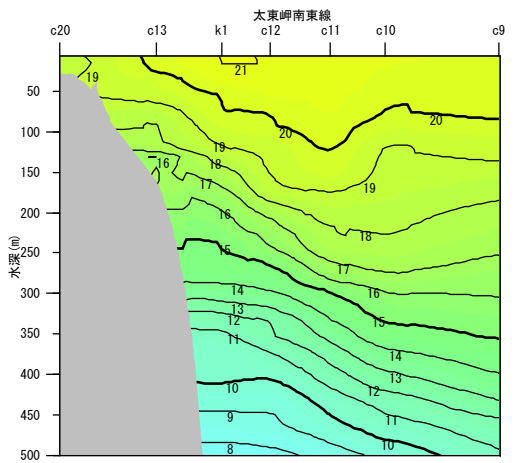
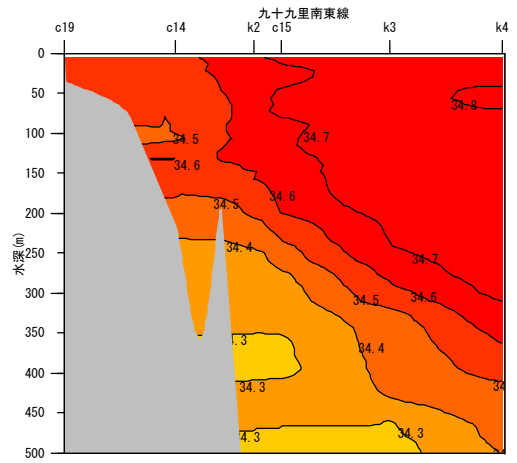
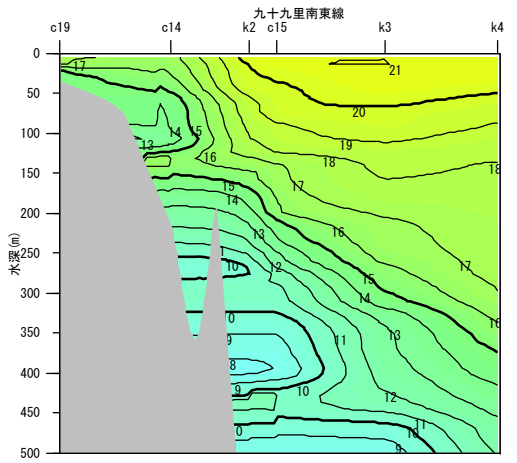
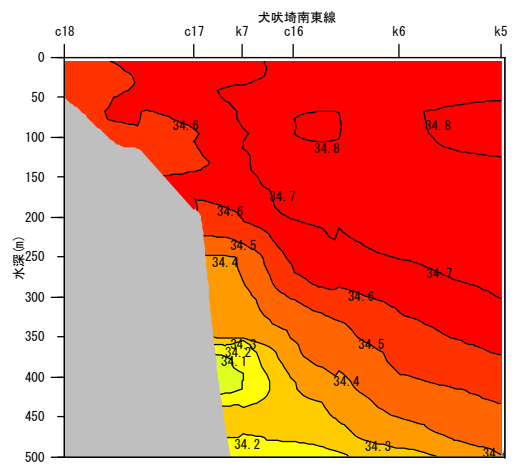
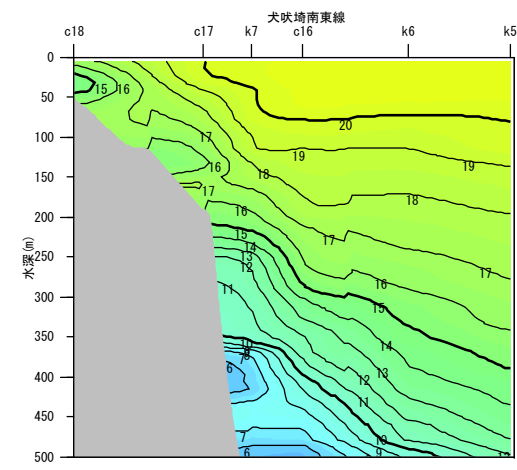


図5 水温鉛直分布

図6 塩分鉛直分布

上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島埼南東線（図1参照）

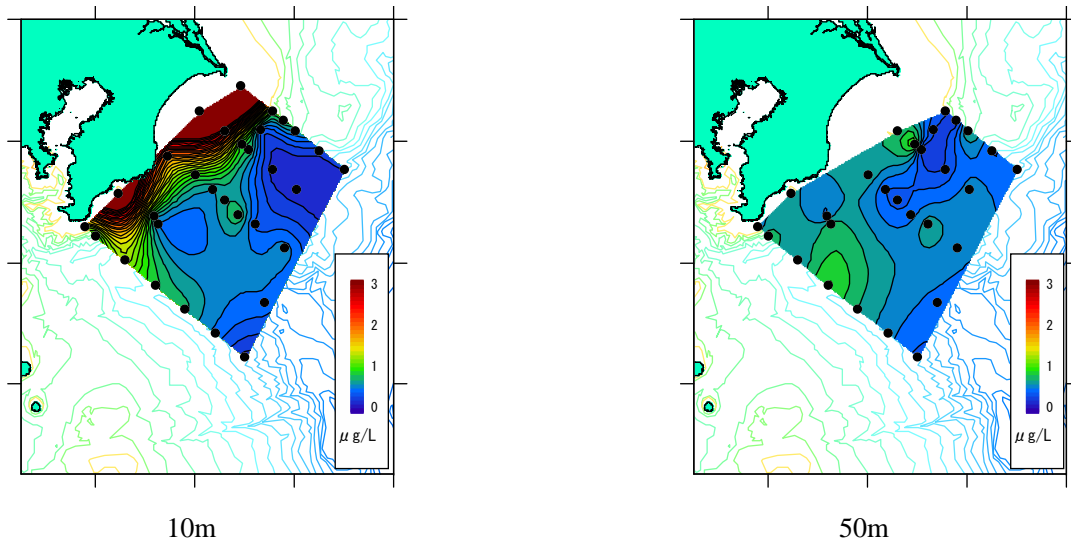
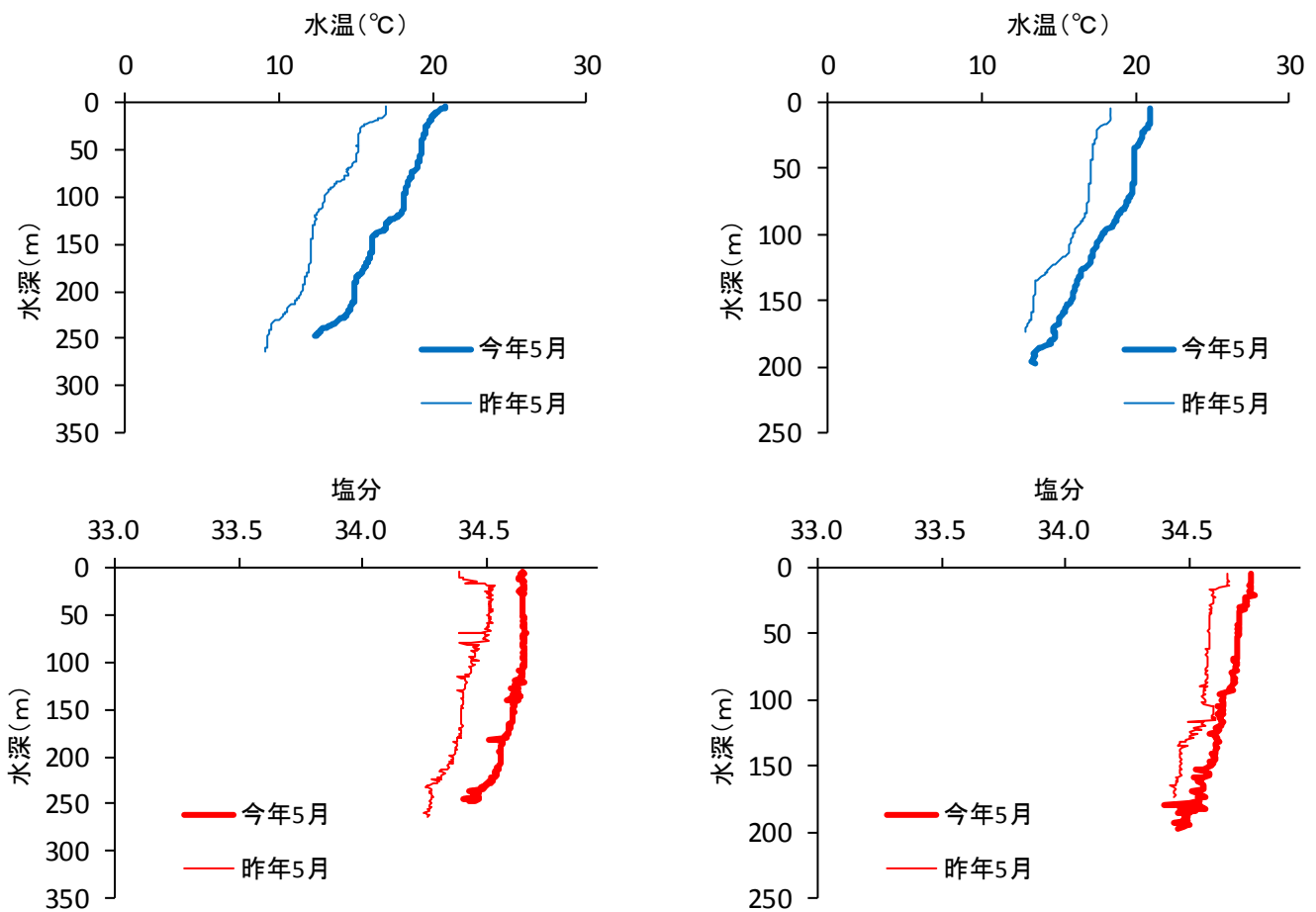


図7 水深別のクロロフィル分布 (単位: $\mu\text{g/L}$)



勝浦沖キンメ場

銚子沖台形場

図8 キンメダイ漁場の水温, 塩分鉛直分布 (青: 水温, 赤: 塩分)